

キャリアス進学では高校生の進路選択動向に関するアンケートを定期的に行っています。

今回は大学進学希望の高校3年生と高校生の保護者に「志望校決定状況と受験予定」について聞きました。

実査期間 : 2017年11月20日～2017年11月30日

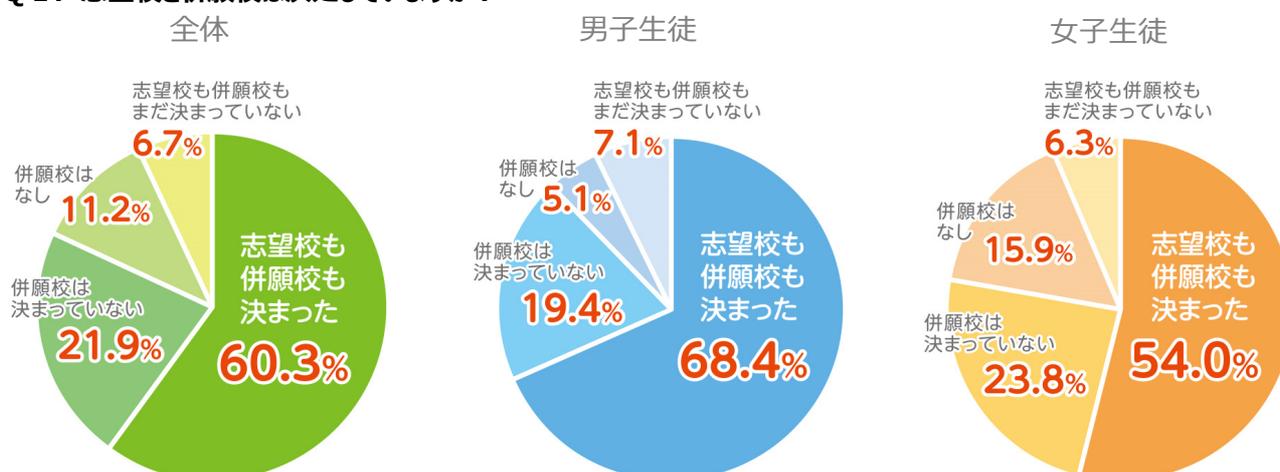
調査方法 : インターネット調査

対象者 : LINE公式アカウント「LINE進学」を友だち追加している高校生および高校生の保護者

有効回答数 : 大学進学希望の高校3年生 : 224名、高校生の保護者 : 138名

1 志望校決定状況について聞きました

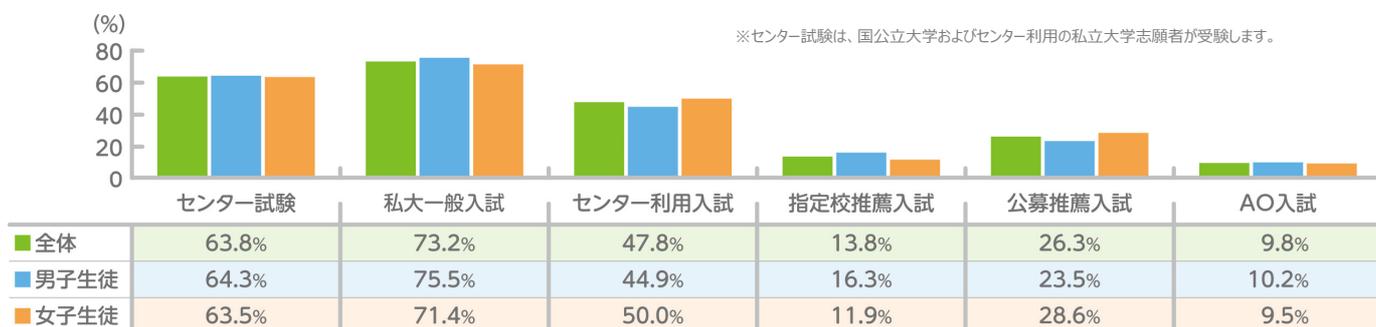
Q1. 志望校と併願校は決定していますか？



全体の6割が志望校・併願校とも決定していました。

また「併願校はなし」と回答した女子生徒の割合は男子生徒の約3倍にのぼり、女子生徒の方がより志望校に絞った受験計画を立てていることがうかがえます。

Q2. 受験予定の入試形態を教えてください（複数回答）

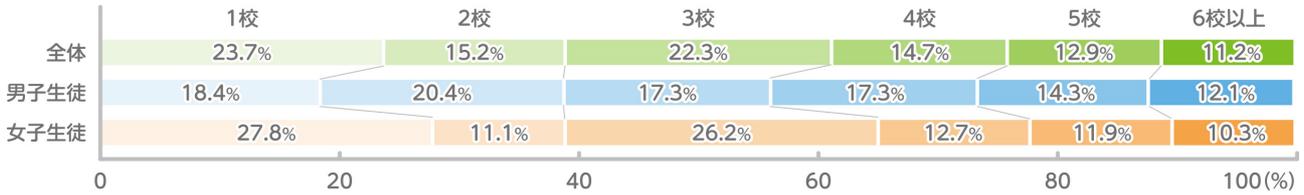


全体の63.8%がセンター試験を受験予定でした。また、私大のセンター利用入試の受験予定は47.8%でした。

指定校推薦と公募推薦の推薦入試のいずれか（または両方）を受験予定と回答した割合は、全体の38.4%となりました。

(各グラフの数値は小数点以下2位を四捨五入した割合で表示しています。合計が100%にならない場合がありますのでご了承ください。)

Q3. 受験予定校数を教えてください



受験予定校数は全体で、「1校」の回答が一番多く23.7%となり、「3校」が22.3%、「2校」の15.2%と続きます。3校までで、6割を超える結果となりました。男女別で見ると、女子生徒は男子生徒より、受験校数が少ない傾向がありました。一方、6校以上の受験予定も1割を超えています（11.2%）。※学校数として回答を得ているため、同一校で複数学部を受験する場合は1校としてカウント。

2 志望校の決定打について高校3年生と高校生の保護者に聞きました

Q4. 志望校の決定打はなんですか？（複数回答）



【志望校の決定打 TOP5】

高校3年生全体			高校生の保護者		
1	学べる内容・目指せる資格	68.8%	1	偏差値(難易度)	61.6%
2	偏差値(難易度)	61.6%	2	学べる内容・目指せる資格	60.1%
3	学校の知名度	34.4%	3	子の意見	55.8%
4	学校の立地	32.6%	4	学校の立地	39.9%
5	試験科目	30.4%	5	学費・生活費	38.4%

高校生、保護者ともに、「偏差値(難易度)」、「学べる内容・目指せる資格」に回答が集中しました。

「学べる内容・目指せる資格」と「偏差値(難易度)」を軸に、他の項目と総合的に検討しながら、志望校を決定しているようです。さらに高校生の場合は「学校の知名度」といったブランド価値や、「試験科目」といった受験を突破するための項目を重視し、一方、保護者の場合は「子の意見」に次いで「学校の立地」、「学費・生活費」といった経済的な面を考慮していることがうかがえます。

(各グラフの数値は小数点以下2位を四捨五入した割合で表示しています。合計が100%にならない場合がありますのでご了承ください。)